

灯



5月は寒暖の差が激しくわが日田市は朝は10度前後、昼は30度超えと体調管理が大変だった。省エネをうたい文句に10年前、環境省が提唱したクールビズも随分と定着してきたようだが、県や市など公的な会合に向く際はわざわざ

ざ、クールビズでズイすからネクタイ着用はご遠慮を、と事前指導がある。ネクタイは男の



草野 義輔

仕事服として必須だったので、ネクタイと無縁だった学生が就活でまず覚えなければならぬのがネクタイの締め方である。クールビズの定着はそれなりに意義のあることだと思いが横並びに一律、という動きにはなぜか抵抗を感じてしまう。

古来「胸襟を開く」という言

葉があり、心の中を隠すことなく話せることなどに使われてきた。ネクタイやボタンを外したクールビズスタイルは確かに、一見胸襟を開いたようには見えるが、最初からは胸襟を開けない会議もあるから微妙ではある。暑く感じるか否かは個人差が大きいのももちろんTPOではあるが、ネクタイをするかどうかは本人の好みの問題ではないかと思う。

ネクタイなしはクールビズの象徴の感があるが、一方でサラリーマンの数少ないおしゃれアイテムでもある。クールビズが定着した今日、ネクタイをしたからといって冷房が強くなるわけでもなし、ネクタイ派にとって温暖化対策に非協力的ととられるのは極めて心外なのが。

(昭和学園高校理事長・日田市)